



経営者の有する可能性

令和7年7月1日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

経営者は企業の決定を得る。それにおいて企業を決定するものである。

これらはすべての企業現実への理解を経て、新たな現実の育成を経営者が実現できることを意味するものである。

これらは今日時代という変化に対して、企業が先端性と独創性を実現できることを意味するものである。

これらは現実の再構築を求めることができるためであり、時代という先端性へ新たな企業システムの構築や企業製品の確立を求め、市場における新たな需要への企業の確立を求めることは可能なのである。

これらは可能性という今日の変化へ経営者が自己判断において企業を新たに求めることができることを意味するものである。

これら変化をけん引することは独創性を求めるものであり、独創性は理解の積み重ねにおいてより優れた視点における企業経営と判断を行うことができるものである。

これらは時代への挑戦という企業の新たな現実を提案するものである。これらは独自性における市場への参加が求められるのである。

独創的な経営を与えるものは、深耕された理解である。それを得ない限り経営は虚業を得るのである。

これら独創性という企業経営を与えるのは高い理解であり、それは正しい経営者の資質である。

これら経営における企業の可能性を有するのは必ず経営者なのである。